

《開催日時》平成18年12月27日(水) 9:30~16:00

《場 所》岸和田市役所 新館4階 第1委員会室

《協議事項》第2回都市景観賞対象物件の手続き審査調査、まちかど審査の報告及び最終選考

《内 容》

(9:30) 現地調査。

(13:30) 選考協議。

(15:30) その他

— 議 事 —

【選考について】

(委) 大規模建築物等届出部門、一般公募部門とも1件の推薦ということか。

(事) 基本的に各1件ということをお願いしたい。

(委) 原則各1件ということであるが、各委員が気になる物件について自由に議論したい。

①大規模建築物等届出部門

(委) **【大え】**については、遊歩道の今後のあり様も問われるところはあるが、やはり岸和田駅の玄関口ということで、今後の周辺への社会的影響を考えて推薦したい。また、**【大か】**については、2期工事が完了して完成品という認識がある。これで完成なら推薦したいと思うが、今後の見通しはどうか。

(事) **【大か】**については2期工事は凍結している。少なくとも今後5年は整備されないだろう。

(委) **【大か】**については、やはり市の事業ということもあってか、敷地に余裕があっている。その他、**【大え】**や**【大う】**も気になっている。**【大さ】**については、木造建築は評価できるが、デザインのディテールに関してやや疑問が残る。

(委) **【大か】**と**【大さ】**を推薦したい。特に、**【大さ】**については、まちかど審査においても評価を得ている。

(委) **【大か】**については、非常に親しみやすいデザインとなっている。その他、**【大さ】**や**蜻蛉池公園のトイレ(3箇所)**も興味がある。

(委) **【大え】**については、やはり駅前の物件で、周辺を先導し、頑張ってもらおうという意味で推薦することもできるだろう。また、**【大さ】**については、隣の和風喫茶にも影響を与え、それぞれが地域住民の交流の場として、地域に貢献している。また裏の住宅地の抑えの役目も果たしている。

(委) 個人的見解としては、**【大い】**について、ボリュームがある物件に関わらず、デザイン的に分節化がなされていることから良いと思う。また**【大か】**と**【大さ】**がよいのではないかとと思われる。

**【大え】**については、駅前にあって、圧迫感のある大断面というのは推薦しかねる。

(委) やはり重みとして、市の物件よりも民間で頑張ってくれた物件を評価する方が良いと思う。

(委) 皆様の意見をまとめると、**【大さ】**を推薦することに決定してはどうか。

⇒ 了承

(事) まちかど審査を実施して、市民の景観意識の高揚という取組としては非常におもしろいものであったが、やはり一枚の写真で選ぶ方法には限界を感じる。また、まちかど審査は、投票場所（地域や施設事情）によって、投票にバラツキがあり、その結果の取り扱いについては、留意が必要である。

## ②一般公募部門

(委) 【公11】については、保育園の整備に子どもたちが参加していることが評価できる。今後の周辺へのまちづくりに良い影響を与えるだろうということを考慮して推薦したい。また、【公1】については、オーソドックスではあるが。周辺の社会的影響力を考えると推薦しないといけないだろう。また、かじやまちの【公16】は、まちなみへのサービス精神が評価できる。一方、【公10】については、インフラとしては評価できるが景観形成という意味ではまだ成熟しているとはいえないのではないかと。沿道建築物の景観や緑化と一体となって評価されるべきものである。いずれにせよ大規模建築物等届出部門で古風なものを推薦したので、一般公募部門については新しい感覚を持ったものを推薦したほうがバランス的に良い。

(委) 【公11】を推薦する。【公10】については、岸和田ではゆとりのある道路として見られるだろうが、全国的に見るとどこにでもある街路という印象がぬぐえない。

(委) 北町の物件（3箇所）を推薦したい。特に、【公7】については、かじやまちの中であって、呉服店をカフェに店替えし先導した取組を行なっている意気込みが評価される。また、【公11】についてもいい印象がある。

(委) 【公1】については、本町のまちなみ形成に先導的な役割を果たしている。また、【公11】は、残材で動物のオブジェを作るなどの暖かい取組が評価できる。かじやまちの【公14】については、もし店が開いていたら評価できるのに残念である。

(委) 北町の物件（3箇所）については、今後本町につづく、第2のブランドとしてかじやまちが形成されればよいと思われる。【公10】については、すっきりした気持ちの良い道路で、岸和田の中では評価できるものと思う。

(委) 個人的見解としては、【公7】について、これまでの取組の経過も含めて推薦に値する。本町では、【公1】や、両隣の町家活用の取組をしている家屋とあわせて建つ【公12】は、評価できる。【公11】は、デザインとしてのまとめりでいえば、ダクトの処理など少し気になる部分がある。【公10】については、沿道建築物や緑化など、まちなみとして成熟すれば、今後検討されている「まちなみ部門」として取り上げることができるだろう。

(委) 比較的、一般公募部門のほうが魅力的な物件が多く、ひとつに決めかねる。

(委) 各委員の意見をきくと、ひとつに絞るのは非常に困難である。よって、総合的評価からは【公1】を推薦することとし、子どもも参加したまちづくり、景観づくりを評価して、奨励賞として、【公11】を、また、かじやまちの3物件からうかがえるように商店街のファサード整備の取組に対して、特別賞として推薦することに決定してはどうか。

⇒ 了承

【選考結果】

①大規模建築物等届出部門

都市景観賞) 久米田池交流資料館【大11、さ】

②一般公募部門

都市景観賞) 小山梅花堂【公1】

奨励賞) 杉乃木保育園【公11】

特別賞) かじやまち

【その他】

①講評について

(委) 景観審議会の承認ということなので、最終的に誰が講評を述べるのか整理が必要である。

②表彰式について

(事) 前回は不特定多数の市民を呼びかけることをしないで自泉会館で表彰式典を行なった。

他市のように講演会やイベント等とセットにしないのなら、かきこまった式典を開く必要性には疑問がある。

(委) 受賞する側も意気込んで出席してくるので、何らかの社会的メッセージが出せるような環境で、表彰式が開催されることを望む。

(事) 一応、市長公室にて表彰式を行い、広報については、テレビ岸和田やホームページ等で公表することを予定している。

③都市景観審議会の日程について

と き：平成19年2月8日(木) 14:00～

ところ：別館3階 会議室

(以 上)